

## 沖縄県公安委員会定例会会議録（令和7年4月24日）

### 1 主な報告等

#### (1) オーシャンシステムにおける新機能の導入について

委員から、インターネット閲覧システムの導入は、職員の利便性が向上し、非常によいことだ。得られる情報量も劇的に増え、業務に大いに活用できるだろう。これを使わない手はない。AIによる回答も、気をつけて使えば有効な手段だ。現時点では同時アクセス数に制限があるとのことなので、今後、状況に合わせて多くの職員が利用できるようにしていただきたい旨の発言があった。

#### (2) 人身安全関連事案対策の強化について

委員から、予防の段階で事件事故に遭わないようにするための対策が重要だと感じた。相談件数が増加し、検挙件数が減少しているということは、相談できる間口が広がったことや、未然防止対策の成果が出ているのではないかと思う。現代は、人間関係のトラブルの収め方が難しくなっているので、人身安全関連事案はこれからも増えるだろう。対応する人員の増加も必要だ。市民側としては、警察に話を聞いてもらうだけでも安心する。すぐに解決できなかったとしても、不安感は解消される。そのことを念頭に入れ、しっかり対応してもらいたい旨の発言があった。

#### (3) 令和7年春の全国交通安全運動の実施結果について

委員から、新一年生への交通安全教室は、非常に重要だ。子供だけでなく、運転手である大人が気を引き締めて運転する対策も必要だ。安全運動期間中は、ちょうど沖縄のシーミーの時期とも重なる。親戚縁者が集まる場で交通安全が話題になるような機会にするのも一計だろう。また、時代の変化に応じた対策も行ってもらいたい。子供の分布も変わってきているほか、今まで見かけた「みどりのおじさん、おばさん」も高齢化して誰も立っていない交差点もある。後継者の育成なども含めて、子供の安全への目配りをしていただきたい旨の発言があった。

#### (4) 令和7年度機動隊新隊員警備訓練の実施について

委員から、性別、体格に関係なく重装備を装着して行われる新隊員訓練の過酷さがよくわかった。「機動隊は最後の砦」の言葉どおり、県民の安全安心は自分たちが支えるという気概で鍛錬に継ぐ鍛錬を重ね、強い存在であってほしい。また、様々な役割や能力が求められる組織でもある。厳しい現場でも女性が活躍できる機会があるはずだ。持てる力をいかせる場を模索してほしい旨の発言があった。

#### (5) その他

警察本部から、今回報告した「オーシャンシステムにおける新機能の導入」のように、新しい技術の導入により、合理化、効率化が図られる業務はほかにも身近にあると思う。先入観を持たず、今後とも積極的に検討して取り入れていきたい旨の発言があった。

## 2 主な決裁等

### (1) 警務部

- ・ 公安委員会宛て苦情の受理について
- ・ 裁決書の裁決について

### (2) 交通部

- ・ 自動車運転免許の行政処分について